

志賀原子力発電所 2号機 使用済燃料貯蔵プール内に落下した チャンネルファスナの回収について

平成21年8月14日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 2号機は、第2回定期検査を実施中のところ、使用済燃料貯蔵プールにおいて、燃料集合体にチャンネルボックス¹を装着する作業中、水中のチャンネルファスナ²の収納容器に、作業に用いる工具が接触し、収納容器の底蓋が開いたため、チャンネルファスナ7個がプールの底面などに落下しました。(8月13日 お知らせ済)

その後、8月13日16時過ぎから当該チャンネルファスナの回収を実施していましたが、同日20時30分には全数を回収するとともに、プール内の構造物に擦り傷やへこみ等の異常がないことを確認しました。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

- 1 チャンネルボックス
燃料集合体の外側に取り付けられているカバー
- 2 チャンネルファスナ
燃料集合体とチャンネルボックスを接続している金具